

これからの展覧会（令和4年度事業予定）

巡回展

日本ガラス工芸協会 創立50年記念「'21日本のガラス展」

会期／前期:令和4年3月12日(土)～5月29日(日)
後期:令和4年6月4日(土)～8月28日(日)



協会員による、個性豊かな現代ガラス作品が出品される展覧会。巡回最終館である当館では会員の新作全77点を前期と後期に分けて展示します。また、創立50年を記念した「ガラスアートの先輩たち」展を開催。日本のガラスアートの発展に貢献した協会ゆかりの作家15名の作品をあわせて紹介します。

JGAA賞受賞作品 言葉についての考察／吉井こころ／2020年

特別展

カットガラス（仮題）

会期／令和4年9月3日(土)～11月6日(日)

江戸時代、無色透明な生地に眩い輝きを放つカットの施された舶載ガラスは多くの人々を魅了しました。日本人は限られた文献などをたよりにヨーロッパのカットガラスの模製を試み、影響を受けながらも、やがて西洋とは異なるガラス生地や独特の研磨技法を駆使し、和様のカットガラス「切子」が誕生しました。本展ではヨーロッパのカットガラス、日本の切子、近現代のカット技法を用いた作品を展示し、その豊かな表現を紹介します。



色抜ガラス切子角満ボカン紋水指
根本幸雄／1991年頃
石川県能登島ガラス美術館蔵
撮影:岡村喜知郎

巡回展

国際ガラス展・金沢2022 in 能登島

会期／令和4年11月12日(土)～令和5年2月12日(日)

「国際ガラス展・金沢」は、1984年に国内公募展として始まり、1988年に国際化してからは3年毎に開催され、本展で15回目を迎えます。世界のガラスシーンの今を展望する国際的なガラス展として評価されるとともに、他の伝統工芸や産業を触発し、新たな芸術文化の創出を期待されています。当館では、世界各国からの応募作品より選出された入選作品を展示します。



前回大賞受賞作品
胎動'19-3
津守秀憲／2019年
石川県能登島ガラス美術館蔵
撮影:岡村喜知郎

テーマ展

ものがたりを紡ぐ

会期／令和5年2月18日(土)～5月28日(日)

物語には、神話や昔話、童話や寓話、SFなどの空想世界から日常に潜む小さな物語など、様々なジャンルが存在します。文字を持たない時代、表現の手段として洞窟壁画やレリーフなどに物語を残しました。本展では、ガラスを溶かし固めてモチーフを形作る、あるいは表面に彫刻や絵付けを施すなどの多彩な手法で、作品に表現された物語の世界を当館の現代ガラスコレクションを中心に紹介します。



オニカナガウ
磯谷晴弘／1993年
石川県能登島ガラス美術館蔵

ガラスから車で30分! 石川県七尾美術館で開催される令和4年度の主な展覧会

長谷川等伯展 ～水墨・濃淡の妙VS着色・彩りの美～
会期／令和4年4月23日(土)～5月22日(日)(会期中無休)

第78回現代美術展 七尾展
会期／令和4年6月3日(金)～6月26日(日)

国立民族学博物館コレクション
ビーズ-つなぐ・かざる・みせる
会期／令和4年7月30日(土)～9月11日(日)(会期中無休)

ノトの絵画物語 ～ふるさとゆかりの名画～
同時開催:いさましく、たくましく
会期／令和4年9月17日(土)～10月23日(日)

2022イタリア・ボローニャ国際絵本原画展
会期／令和4年11月3日(木・祝)～12月11日(日)(会期中無休)

※詳細は石川県七尾美術館まで
(TEL:0767-53-1500)

「ガウ美のおすすめ利用サービス」

●能登島ガラスコレクション 解説シート

当館コレクションの中からセレクトした作品を詳しく解説したシートです。作品解説に作家紹介、画像付きで詳細な作品データまで記されており、より深く作品を楽しむことができます。該当作品の展示の際には展示室内で無料配布していますので、鑑賞の記念にご自由にお持ち帰りください。



●七尾市文化施設等共通観覧券

七尾市の文化施設を有効期限内なら何度でも利用できる共通券を販売しています。当館でも購入＆利用ができます。能登観光や、美術館・博物館めぐりが好きな方におすすめです。

2日間パスポート:一般1,000円、大学生以下 800円
1年間パスポート:一般2,600円、大学生以下1,300円

【利用対象施設】 石川県能登島ガラス美術館、石川県七尾美術館、七尾城史資料館、懐古館、能登国分寺展示館、中島お祭り資料館・お祭り伝承館、明治の館



ミュージアムグッズの販売

美術館の受付で、展覧会図録のほか収蔵作品の絵はがきや筆箋などのオリジナルグッズを販売しています。コロナ禍でなかなか会えない家族や友達に近況を知らせるお便りを出しませんか?



美術館インフォメーション

◆入館料
一般800円(700円) 中学生以下無料

※高校生以上は一般料金
※()内は20名以上の団体料金
*障害者手帳等をお持ちの方は、本人と付添者1名が無料となりますので受付窓口にてご提示ください。専用アプリの画面表示も適用となります。その他、各種割引、減免金額については、直接お問合せください。

◆休館日
毎月第3火曜日(祝日の場合はその翌日)
年末年始(12月29日～翌年1月1日)
展示替え 館内整備期間
*展示替え休館日は当館HPや年間スケジュールでご確認ください。

◆開館時間
4月～11月:午前9時～午後5時
12月～3月:午前9時～午後4時30分
*入館は閉館時間の30分前まで。

長年ご覧いただいていた公式ブログに代わり、新たにInstagram(インスタグラム)を始めました!Twitter(ツイッター)とFacebook(フェイスブック)でも展覧会などの情報を発信しています。ぜひフォローをよろしくお祈いします!



〒926-0211 石川県七尾市能登島向町125番地10番地
TEL (0767) 84-1175 FAX (0767) 84-1129
編集・発行/石川県能登島ガラス美術館(公益財団法人七尾美術財団)

美術館ボランティア募集中

美術館活動をサポートしてくださる方を募集しています。当館のボランティアは登録制です。お気軽にお問合せください。

募集対象/高校生以上で説明会に参加いただける方(説明会は随時開催)

活動内容/①イベント・ワークショップの補助
②団体鑑賞サポート
③広報物、図書整理

活動時間/1回につき1～3時間程度
※1回の活動につき当館招待券を2枚進呈
受付期間/令和4年3月1日(火)～令和5年2月28日(火)

活動記録

今年度は2回のワークショップ、5月3日「モザイクガラスでオリジナルグッズづくり」と11月21日「吉祥文様の絵はがきづくり」でボランティアさんに制作補助をお願いしました。新型コロナの感染症対策を講じての開催でしたが、ボランティアさんからは「とても楽しかった!!参加者さんのお手伝いはやりがいがありました。また参加したいです。」「意欲的に参加するご夫婦やご家族がとても微笑ましく感じました。」との感想をいただきました。



石川県能登島ガラス美術館だより

Notojima Glass Art Museum: NEWSLETTER

発行/令和4年3月31日

第28号

目次	1	能登島ガラスコレクション 作品紹介
	2	これまでの展覧会・イベント(令和3年度事業報告)
	3	主なイベント活動(令和3年度事業報告)/トピック①「語らい」修復完了です!
	4	令和3年度 ガラ美の足あと(事業報告)/令和4年度の活動よせて/トピック② 高圧洗浄機/学芸員のおすすめ図書
	5	これからの展覧会(令和4年度事業予定)/石川県七尾美術館で開催される令和4年度の主な展覧会
	6	ガラ美のおすすめ利用サービス/美術館ボランティア募集中・活動記録/ミュージアムグッズの販売/美術館インフォメーション

能登島ガラスコレクション

作品紹介



変わりゆくもの I / 渋谷良治 / 2000年

1986年のチェルノブイリ原子力発電所事故により作家の故郷ベラルーシは放射能雲に覆われました。25年後の2011年、東京電力福島第一原子力発電所事故が起こり、またしても無数の穏やかな日常は失われてしまいます。

本作は吹きガラスで作られた2つの女性の頭部と、それらを繋ぐガスマスクのチューブで構成されています。一方は小さく萎み、もう一方は血を流して大きく膨らんでいます。ガラスを媒体として作家の溢れ出す感情が伝わってきます。



Chernobyl・Fukushima / パヴェル・ヴォイニトスキー / 2015年
撮影:岡村喜知郎

※2点とも令和3年度テーマ展「リフレクション」出品作品



これまでの展覧会・イベント（令和3年度事業報告）



特別展
本郷仁 風景装置

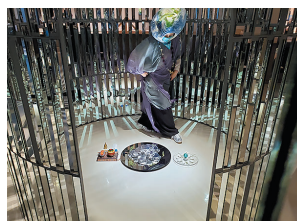
会期／令和3年6月5日(土)～9月5日(日)
開館日数／45日間(臨時休館:6月5日～13日、7月31日～9月5日) 入館者数／3,553人
主催／石川県能登島ガラス美術館(公益財団法人七尾美術財団)

「みること」をテーマに鏡を用いたインタラクティブな作品を発表している本郷仁の個展を開催しました。作品をとおして新たな「風景」が生まれる、といった非日常的な視覚体験が、何気ない「みる」という行為を改めて意識させ、世界との関わり方を再考する機会となりました。新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言発令を受けての臨時休館により、開館日数は予定された会期の半分となったことが残念です。

◆会期中の関連イベント

**本郷仁×トムスマ・オルタナティブ
スペース・コラボ・ワークショップ**
開催日時／令和3年7月24日(土)、25日(日)各日13:30～14:30
出演／本郷仁、トムスマ・オルタナティブ(パフォーマンスアーティスト)
参加費／1,000円 対象／小学4年生から大人まで
参加者数／16人

本郷氏とのピンホールカメラ作りに続いて、暗室全体をカメラとし窓を塞ぐ暗幕に開けられた穴から屋外の風景を取り込むなど、眼の原理を体験しました。トムスマ氏による参加型のパフォーマンスは、冥想やダンスなどで自身を開放し、新たな世界の捉え方に気付くきっかけとなりました。



企画展

吉祥 中国清朝のガラスと祈りの文様

会期／令和3年9月11日(土)～12月12日(日)
開館日数／71日間(臨時休館:9月11日～30日) 入館者数／7,554人
主催／石川県能登島ガラス美術館(公益財団法人七尾美術財団)
協力／サントリー美術館、たばこと塩の博物館

本展は、文様に込められた吉祥の願いとともに、中国清朝ガラスの美と技を紹介するものです。清朝ガラスの最大の魅力は、多彩な不透明ガラスにみる独特の色彩と精巧な浮彫り表現にあります。動物や植物、魚、鳥など吉祥の意味を持つ様々な文様が、色の組み合わせや彫りの深さによって色合いを変えながら表現されました。各室でテーマを設け、治世の安寧や子孫繁栄など皇帝の願いが込められた作品から、生活の中で誰もが願ってやまない望みが込められた作品の数々をご覧ください。

◆会期中の関連イベント

吉祥文様の絵はがきづくり
開催日時／令和3年9月19日(日) ※臨時休館のため中止
令和3年11月21日(日) ①10:00～②11:00～③14:00～④15:00～
会場／会議室 参加費／500円 参加者数／6人

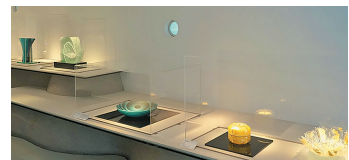
展覧会関連イベントとして、「文様」と「彫る」をキーワードに、文様の意味を学びながら、スチレン版画で絵はがきを作るワークショップを開催しました。ご家族やご夫婦での参加があり、参加者からは当館が準備した下絵の解説を読み、文様の意味を始めて知ったという声もありました。



テーマ展
リフレクション

会期／令和3年12月18日(土)～令和4年3月6日(日)
開館日数／72日間 入館者数／3,082人
主催／石川県能登島ガラス美術館(公益財団法人七尾美術財団)

光や音の反射、投影などを意味する「リフレクション(reflection)」は、ガラス最大の特徴のひとつです。ガラスの表面や内部に施された加工がもたらす光の反射は、力強さや優しさ、華やかさ静けさなど作品にもたらし、照明の角度や鑑賞者の位置によって、表情を変化させます。この素材の特徴に加え、作品の制作に必要な事象(作家が過ごした時代や訪れた土地、取り巻く人々との関係性など)を投影するメディアとしてのガラス作品の可能性を探りました。



▶ 主なイベント活動(令和3年度事業報告)

● 図書館×美術館コラボ企画 絵本のじかん
～中国のうつくしいガラスの世界

開催日時／令和3年10月10日(日) ①10:30～②14:00～
会場／七尾市立図書館 絵本コーナー内
参加費／無料 参加者数／30人

開催中の展覧会に関連した絵本の読み聞かせの後、展示作品「黄色朝珠」の模造品に実際に触れる鑑賞プログラムを開催しました。市立図書館と初めての協働企画で、それぞれの館の専門性を活かし、手や耳など身体を使いながら「見る」だけでは気づきにくい作品の魅力について紹介しました。コラボ企画は2週にわたって開催し、17日(日)は美術館で本物の作品を鑑賞した後、ガラスに彫刻する体験をしました。



● わいわい能登島ふれあいまつり

開催日時／令和3年11月7日(日)
①10:00～②11:00～③12:00～④14:00～
会場／能登島地区コミュニティセンター芝生広場
参加費／500円 参加者数／11人

能登島地域づくり協議会が主催するイベントに出店しました。専用絵具を使ってガラスに描いた絵を、オープンで加熱して焼き付ける「ガラスの絵付け体験」で、安定感のあるスクエア型のガラス、絵筆だけでなく扱いやすいペン型も準備して開催したところ、小さなお子様でも簡単に描き始めることができ、皆さん制作に没頭されていました。焼き付けに少し時間がかかりましたが、無事にお渡しすることができました。



● 冬はガラ美でほっこりセレクトワークショップ

開催日時／令和3年12月～令和4年2月までの毎土・日曜、祝日
①13:30～②14:15～③15:30～
会場／会議室 参加費／500円 参加者数／157人

毎年冬季期間限定で開催しているワークショップで、今年は定番となったガラス彫刻体験だけでなく、月毎に実施内容を変えて開催しました。実施内容は、過去美術館で開催して好評だったものからセレクトし、12月は「いろどりのジェルキャンドル」、1月は「ミニルーターでガラス彫刻」、2月は「べたべたモザイク・ガラス」としました。新型コロナの感染拡大の影響を受け、期間途中で受入れを中止しましたが、沢山の方に参加いただきました。



トピック①
「語らい」修復完了です！

新パーツに取り替えただけなのに、数か月後、「語らい」(1991年、横山尚人)の赤い円形パーツに大きな亀裂を見つけ、トホホな気持ちに。原因は、金具をはめる穴を開けた際に付いた細かな傷が、時間が経って伸びてきたのだらうとのこと。傷にはとっても弱いガラスの性質上、放っておくと亀裂が進み危険なので、さっそく修復に入りました。パーツの加工や運搬、取付けまでに日数がかかりましたが、2021年5月無事に修復が完了しました。2回の大修復に耐え抜いた雄姿、ぜひ見に来てくださいませ！



令和3年度 ガラ美の足あと(事業報告) 新型コロナウイルス感染拡大に伴う臨時休館
5月12日(水)～6月13日(日)、7月31日(土)～9月30日(木)

【教育・普及】
●ワークショップ
5月3日(月・祝)
「モザイクガラスでオリジナルグッズづくり」
参加者数／31人
7月24日(土)、25日(日)
「スペース・コラボ・ワークショップ」
参加者数計／16人
11月21日(日)
「吉祥文様の絵はがきづくり」
参加者数／6人
●冬はガラ美でほっこりセレクトワークショップ
12月～令和4年2月の毎土・日曜
参加者数計／157人
(12月86人、1月66人、2月5人)
※まん延防止等重点措置の適用により、1月28日以降の新規受付中止
●リクエストワークショップ
10月7日(木)
金沢市立内川中学校3年生
参加者数／13人
10月8日(金)
女性県政学習バス
(個人・能登コース)
参加者数／14人

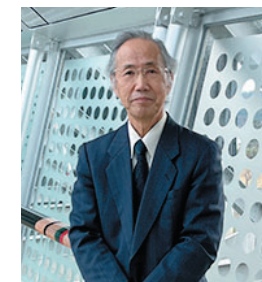
10月17日(日)
図書館×美術館コラボ企画 郷土探検隊
参加者数／14人
10月29日(金)
石川県立盲学校高等部1年生
参加者数／4人
12月3日(金)
七尾市教育研究所 教育支援センターわかたけ
参加者数／14人
令和4年2月14日(月)、20(日)
七尾市立能登島小学校3年生
参加者数計／17人
●学校団体鑑賞プログラム
令和4年2月14日(月)
七尾市立能登島小学校3年生
参加者数／15人
●出張講座
10月10日(日)
「図書館×美術館コラボ企画
絵本のじかん～中国のうつくしいガラスの世界」
(七尾市立図書館)
参加者数／30人
11月7日(日)
「わいわい能登島ふれあいまつり」
体験コーナー出店
ガラスの絵付け体験実施
(能登島コミュニティセンター芝生広場)
参加者数／11人

令和4年2月9日(水)
七尾市立能登島小学校3年生
ワークショップ(2/14)事前学習
参加者数／17人
●「ガラ美で学ぶ解説シート」の提供
6月23日(水)～7月30日(金)
「第35回全国手づくりガラス展」協力
(石川県地産産業振興センター本館1階
じばさんギャラリー)
●ガラ美感謝祭2021
7月24日(土)、25日(日)
入館者にオリジナルはがきセットをプレゼント
配布件数計／533件
7月25日(日)
七尾市民無料デー
対象者／26人

【収集・保存／調査・研究】
●作品修復 1件
横山尚人「語らい」(1991)
●画像貸出 1件
若色正太「光と色の表出」(2018)、「ガラス
工芸家100人 現代日本の精鋭たち 別冊
炎芸術」(阿部出版、2021)掲載
●作品貸出 1件
津守秀憲「胎動'19-3」(2019)、国際ガラス
展・漆展「特別展」(11月3日～14日、石川県政
記念いのき迎賓館)
●所蔵作品撮影 10点

令和4年度の活動によせて

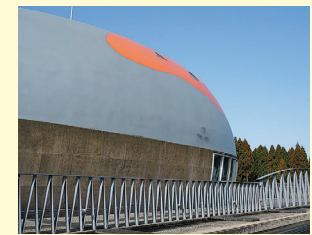
石川県能登島ガラス美術館は、国内でも数少ないガラス専門の美術館として昨年度開館30周年という大きな節目を終えることができました。新型コロナ感染拡大の終息が見通せないなか、今年も最善の工夫をしながら企画してまいります。先ず、3年に1度の巡回展では、春の「21日本のガラス展」、秋の「国際ガラス展・金沢2022 in 能登島」、特別展として「カットガラス展(仮)」、テーマ展として「ものがたりを紡ぐ」など、館の魅力を最大限に活かした心ひかれる展覧会を開催予定です。是非ご来館いただき、風光明媚な能登島の景観と併せてご堪能下さいませ。



観田健治館長

トピック②
高压洗浄機

新型コロナウイルス感染症拡大により臨時休館を余儀なくされた春。それでは施設整備をがんばろうと、本郷仁展で作品の設置が決まった展望ベランダと建物外壁の黒ずみを綺麗にすることに。高压洗浄機を借り、女性職員2人で20年余りの汚れを落としました。飛び散る水を浴び(水も滴るいい女)、吹き飛ばした苔と汚水が顔にかかって苔バック(効果なし)。汚れが落ちる爽快感が癖になり、あらゆる場所の洗浄に取り憑かれた臨時休館中でした。



【学芸員のおすすめ図書】

「花鳥・山水画を読み解く 中国絵画の意味」
(宮崎法子、2003年、KADOKAWA／角川選書)

中国の美術作品には吉祥にかかわる願いや意味を、様々な事物や事象に込める表現が多く見られます。それら吉祥を示す意匠には、中国の人々の幸福観や人生観など、独特の思想が反映されていることも少なくありません。この書籍では、中国絵画を代表する山水画と花鳥画に焦点を当て、画題やモチーフに込められた寓意や人々の心、社会背景を読み解いています。中国絵画の奥深く、魅力的な世界へ優しく導いてくれる入門書のような一冊です。

